



「人、動物、地域に向き合う多機関連携・協働のありかたについて」

●話題提供者 甲賀市 健康福祉部地域共生社会推進課 課長 竜王 真紀 さん

こうか人福祉・動物福祉協働会議

2018年より行政と民間双方の動物愛護と社会福祉の関係者が集まり、人と動物の問題について、定期的に情報共有、事例検討、研修会やボランティア育成などを行っている。

背景：多頭飼育崩壊の2事例の検証 …近所からの苦情、介護サービスが困難、経済的困窮

課題：地域における孤立 …人とのつながりの弱さ、周囲に無関心、他人事

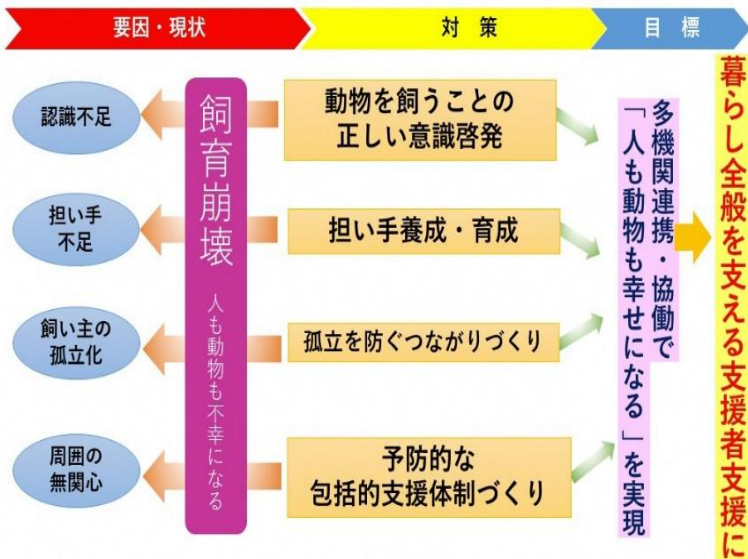
福祉行政と動物行政の連携 …切り離れた支援では、根本的な解決ができず問題の繰り返し

- 人と動物の問題を両輪で考えるために、地域へ出向き対話をしながら正しい知識を啓発していく。
- 自覚のないSOSを誰かが気づく …未然に人と動物を救うことができる。
- 孤立させないつながりづくり …寂しい人、高齢者、一人暮らし →喋りたい、誰かにあてにされたい →動物を飼ってしまう →人とのつながりも必要なのでは。

- 人の福祉と動物の福祉を両輪で考える。見える形にすることが行政の役割。
- 行政・関係機関・市民の連携 …暮らしの困りごとや、地域共生社会の実現に役立つ。
- わんにゃんボランティア養成 …人に寄り添える、飼っている人に優しいボランティアを作る。
- エンディングノート作り …ペットのページを多めに。自分のペットを誰に飼ってもらうか、考えるきっかけに。



飼育崩壊にいたる要因や周辺の課題を明確にすることで、 予防的な対策が講じられる。



参加者の声

- 自分もコミュニティをつくっている。その中に支援できる人がいれば、そこにいる人全員がその人とつながれる。湖南市に「動物保護管理センター」があるがもっと周知していく必要がある。
- 保護活動の施設にフードを寄付など自分にもできるのでは。
- ペットレスキューというものがある。
- 軽い気持ちではなく責任を持って飼う。自分は営業職なので色々な所に入りに入っている中で、つなげる架け橋になれたらな。
- 多頭飼育自体を本人が問題と認識していない。
- 訪問で問題に感じなかったことも、振り返ればどこかにつなげることができたかも。啓発、予防が大切。
- 公園で餌やりをし、猫がごみを散らかして問題になっているが、どこに連絡していいかわからない。
- 多頭飼育になる前に止める条例などはないのか。
- ペット税を設けて飼う責任を与えるのもひとつかな。
- 熱帯魚やカメなどを川に放して外来種を増やしてしまう。
- エンディングノートがいいのでは。
- 認知症の方が、餌をあげたことを忘れまたあげてしまう。
- ケアマネージャーが子猫の飼い主探しまでして負担が大きい。
- 先進国で獣医療のソーシャルワーカーがいる。日本も未来は必要なのは。

【次回ワーキンググループ会議】

日時：令和7年3月26日(木) 18:30~20:00
 場所：滋賀県庁新館3階 大会議室 (Web参加可)
 テーマ：「今年度の地域創造会議振り返り
 & 会員同士交流会」



医療福祉の地域創造会議 事務局

(滋賀県庁 医療福祉推進課内)

TEL 077-528-3529

FAX 077-528-4851

e-mail info@chiikisouzoukaigi-s higa.jp